

Sei Senkouji

no.1-2/FUTURE

前回に引き続き千光士さんにインタビューです。今回は、作品に対するこれからの方向性についても語っていただきます。

PROFILE

千光士 誠 [センコウジ セイ]



1967年4月5日 高知県に生まれる。

東京造形大学造形学部デザイン学科卒業
東京造形大学研究科修了
大学時代は映像制作に携わる。

その後現代美術に活動のフィールドを移し、銀座などで個展の発表を行っていた。その後ネットを通じてフィールドを海外にも広げる。独自のコミック風アートや、顔の力強いペインティングなどには定評がある。近年は関西に居を移し、東京、大阪などで活動を行っている。

[千光士 誠の作品を見る>>](#)



Q1.活動を始めてからの印象的な出会いは？

まずアーティスト。中山ダイスケを通じていろいろ知り合えたし、その他表現者と知り合えたのは忘れられない。ネットを通じてイギリスの学生たちや雑誌の人たちと交流が持てたのはよかった。1997年当時は銀座の閉じられた世界でばかりやってもだめだ、という考えもあってメールに添付してガツンガツン海外のサイトに作品送ってたりしました。

今みたいにウイルスなんてほとんどなかったの。その実りはあって割にヨーロッパとかで受け入れてくれて、卒論の対象にしてくれる学生まででたり、取り上げてくれる雑誌もありました。性的な作風だったので、プライベートまで差し込んだ質問が多くて楽しかったです。それから僕たちはやはり西洋の文化に対するあこがれがあるんですけど、向こうの人たちは日本的混濁した文化を自由で刺激的だと思っていたり、面白い経験でしたね。



Q2.理想と現実の違いがあれば教えてください

質問の答として適切かわからないけれど、どんなことでも個人の表現を突き出そうとするといろいろな現実的な障害があるものですね。それを理想とのギャップと考えずに面白いエラーだと受け入れれば人生は回り道をしてこそ面白いと言える。アート界のエリート、まあどんな世界でもエリートなんて面白くも何ともないわけで、ギャップのある目の前の現実と格闘することが面白い、そんなふうに乗っかっています。思ったように事が進んだら面白くも何ともないじゃないですか。



Q3.夢は？

アートが今のような状態ではなく、もっと社会と混濁して文化の一つとして機能することです。もちろん自分の作品が一番目立って(笑) まあだいたいそういうのは一人のスターにぶら下がりがちで、アーティストは個人個人にそういった意識がないのでなかなか難しいことですから。



Q4.これからの活動方向は？

個人的にもこれからはこのようなウェブでの展開、流通を活発にしたい。そうすればもっとギャラリーにも関心が向くかもしれないし、とどめを刺すかもしれないしはっきりして面白いと思う。ウェブは国境も超えることができるので以前のように海外でのリアルタイムな交流も継続したい。そういった空中戦だけでなく地上戦としてギャラリーでの展開、今度大阪のCASOでCASO展(7月に開催)に出しますが、地域に限らず発表してゆきたい。

それからさきほど述べたようにもっと社会との混濁をこのような企業力を借りて実践してゆきたい。田舎の町おこしに強引にアートを置くとかではなく、神戸なら神戸、大

阪なら大阪の文化を作る一つとして機能できればいいですね。それには一人の力では無理で、他ジャンルや街を作る人の意識とかいろんなものを絡めてやってみたいです。それと表現の方法ですが、もはや表現なんでもものは出尽くしてるわけで、なにやっても自由だからぼんやりと描いてて抽象画が出来たとか、かわいい顔の絵がはやってるから描いたとか、くだらないことはやってないで、ある設定を無理やり限定する、緊張感のある状況に置く、そんな不自由さによって、はじめて新しいものが見えてくるんじゃないのか。そんな風に考えています。



どの質問にも真剣に答えてくださった千光士さん。一見クールに見えるのですが、ご自分の作品アートにまつわる話になると目をキラキラさせながら熱心に語ってくださり、「アートがとても好きで何か新しいことをしていきたい」というお気持ちがひしひしと伝わってきました。常に、理想の環境・作品を追い求めて活動している千光士さん。今後、どのような形で活躍してくれるのかとても楽しみです！ありがとうございました。

[Back number](#)

[■ご利用規約](#) [■企業様へ](#) [■会社概要](#) [■プライバシーポリシー](#) [■通信販売法規表示](#) [■サイトマップ](#) [■お問い合わせ](#)

Copyright(c)2006 EAGER Co.,LTD. All rights reserved.

最終更新日: 2006.7.6

